

NEWS RELEASE



エイチ・シー・ネットワークス株式会社

発行 No.2025120101

2025 年 12 月 1 日

サポートサービス「HiVAS シリーズ」に、新ラインアップを追加 「HiVAS Secure Line」を新たに加え、セキュリティ運用サービスを強化

エイチ・シー・ネットワークス株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:田中 宗、以下 エイチ・シー・ネットワークス)は、保守運用サービスとして提供している「HiVAS シリーズ」に、新たなセキュリティ運用サービス「HiVAS Secure Line(セキュアライン)」を追加しました。多様なセキュリティサービスを取りそろえ、お客様のニーズに合わせた最適なセキュリティソリューションをご提供します。



■HiVAS Secure Line の特徴

Secure Line として「Secure Pack」、「UTM+SOC」、「EDR+SOC」の3つ、個別サービスとして、「サイバーセキュリティアドバイザリーサービス」、「脆弱性診断」、「セキュリティ設定診断」、「ペネトレーションテスト」、「脅威ベースセキュリティアセスメント」、「アタックサーフェイス調査」、「緊急インシデント対応(アドバイザリー)」、「緊急インシデント対応(フォレンジック)」の8つを提供します。

詳しくは以下のURLからご参照ください。

https://www.hcnet.co.jp/products/service/hivas_secure_line.html

■Secure Line について

・Secure Pack

予防・検知・対応の各フェーズで必須なセキュリティ運用を月額固定料金で提供します。このサービスは、セキュリティ担当者に伴走する支援となっており、組織のセキュリティレベル向上に取り組めます。

・UTM+SOC

事前に定義された検知ルールをもとに、アラームやトラフィックをリアルタイムで監視する体制を準備し、監

視・検知・分析・対応・改善のサイクルを定常的に回します。なお、有事の際には、状況に応じて SOC チームが分析および対応を実施します。

・EDR+SOC

インシデントの検出から隔離・修復まで AI がすべて自動で対応します。つまり、まず感染拡大を止めることを最優先にしています。従来の EDR と比べ、高い保護・検知能力とスピーディーな復旧能力を有します。また事後調査として、手動で内部感染の有無を確認することもできます。

■エイチ・シー・ネットワークス株式会社

エイチ・シー・ネットワークスは、統合 IT インフラベンダーとして、IT の可能性に挑戦し、未来を創る力を発揮します。1981 年創業以来 40 年以上にわたり培ってきた技術力で、サーバー、ネットワーク、セキュリティ、クラウド、仮想化、ワークスタイルイノベーション、運用サービスなどに、自社開発製品による独自の価値を加え、SIer とメーカー両方の強みを融合した高品質・高信頼性ネットワークの統合 IT インフラ事業を通じて、夢のある豊かで持続可能な社会を創造していきます。また、ウェルビーイング経営で成長と働きやすい環境づくりを推進し、社員一人ひとりが誇りを持って働ける職場を提供します。

詳細は次の URL からご覧いただけます。<https://www.hcnet.co.jp>

■本ニュースリリースに関するお問い合わせ

エイチ・シー・ネットワークス株式会社

第一営業本部 ビジネスサポート部 ビジネス推進グループ

〒111-0053

東京都台東区浅草橋1-22-16ヒューリック浅草橋ビル5F

お問い合わせURL:<https://www.hcnet.co.jp/inquiry/>

■登録商標

HCNETおよびそのロゴは、エイチ・シー・ネットワークス株式会社の商標または登録商標です。

本ニュースリリースに記載されているその他の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。